

RAMDash 取扱説明書

RAMDash（ラムダッシュ）は、PC のメモリ（RAM）の一部を超高速なディスク（**RAMディスク**）として切り出し、Windows やアプリが頻繁に読み書きする **一時ファイル・キャッシュ** をそこへ移動することで、ストレージへの書き込みを減らし、動作を快適にする常駐型ユーティリティです。

- RAMディスク上のデータはシャットダウンで消えますが、対象は「消えても自動で再生成される キャッシュ・一時ファイル」だけなので、消えて困るものではありません。
- 普段はシステムトレイに常駐して RAMディスクの維持・自動修復を行い、必要なときだけ 設定ウィンドウを開いて操作します。

対応 OS / 権限: Windows 10 / 11 (64bit)。RAMディスクの作成やフォルダのリダイレクトに Windows の管理者権限が必要なため、本アプリは常に管理者として起動します（UAC の確認が出ます）。

目次

1. ソフトの概要（RAMディスクとは／どんな効果があるか）
2. 動作環境
3. インストール・アンインストール方法
4. 画面の構成と基本操作
5. 機能リファレンス（全機能の詳細）
 - 5.1 RAMディスク管理
 - 5.2 一時フォルダ
 - 5.3 ブラウザキャッシュ
 - 5.4 ゲーマー向けキャッシュ
 - 5.5 開発者向けキャッシュ
 - 5.6 アプリ・システムキャッシュ
 - 5.7 自動起動
 - 5.8 クリーンアップ（すべて元に戻す）
 - 5.9 設定（外観・アプリ情報）
6. ユースケース別おすすめ設定
7. 仕組みの解説（上級者向け）
8. トラブルシューティング
9. よくある質問（FAQ）
10. 配布形態（お試し版・シェアウェア版）
11. 作者への連絡先

1. ソフトの概要

RAMディスクとは

RAMディスクは、PC のメインメモリ（RAM）の一部を仮想的なドライブ（既定では **R:** ドライブ）として使えるようにしたものです。SSD や HDD よりもはるかに高速で、特に小さなファイルを大量に読み書きする処理で効果を発揮します。一方で、電源を切ると中身は消えます。

RAMDash が向いているデータ

RAMディスクへ移して効果が高いのは、次の 3 つを満たすデータです。

- **書き込みが多い**（ストレージの消耗・待ち時間につながる）
- **繰り返し再生成される**（消えても自動で作り直される）
- **消えても困らない**（保存データではない）

各種「キャッシュ」や「一時ファイル」はまさにこれに該当します。RAMDash は対象を キャッシュ・一時ファイルに限定しているため、データ消失のリスクなく高速化できます。

効果の目安について: ブラウザキャッシュや一時フォルダは、Windows 自身がある程度 メモリ上にキャッシュしているため体感差が小さい場合があります。書き込み頻度が高く再生成されるゲームのシェーダーキャッシュ、ビルド系キャッシュ（npm / pip / NuGet）、チャットアプリのキャッシュなどで効果が出やすい傾向があります。

2. 動作環境

- **対応 OS:** Windows 10 / 11 (64bit)
- **権限:** RAMディスクの作成やフォルダのリダイレクトに管理者権限が必要なため、本アプリは常に管理者として起動します（起動のたびに UAC の確認が出ます）。
- **メモリ:** RAMディスクに割り当てる分だけ、システムで使える空きメモリが必要です。作成するRAMディスクのサイズは、搭載メモリと他アプリの使用量を踏まえて決めてください（目安は[5.1](#)参照）。
- **ドライバ:** RAMディスクの作成には ImDisk ドライバが必要です。インストーラに同梱されており、初回起動時に自動でセットアップされます。

3. インストール・アンインストール方法

インストール

1. 配布された **RAMDash-Setup-x.y.z.exe** を実行します。
2. UAC（ユーザーアカウント制御）の確認が出たら「はい」を選びます（管理者権限でインストールされます）。
3. ウィザードに従って進めます。インストール先は既定で **C:\Program Files\RAMDash** です。
4. 完了画面で「RAMDash を起動する」にチェックを付けると、そのまま起動します。

ImDisk ドライバについて: RAMディスクの作成には ImDisk というドライバが必要ですが、インストーラに同梱されており、**RAMDash の初回起動時に自動でセットアップ**されます。ユーザーが別途インストールする必要はありません。環境によっては、初回のドライバ導入後に **1 回 Windows を再起動**するとドライバが認識されます。

初回セットアップの流れ

1. RAMDash を起動すると、ウィンドウは表示されず**タスクトレイ（通知領域）にアイコン**が常駐します。アイコンを**右クリック**し「設定を開く」を選択すると設定ウィンドウが開きます。
2. 左メニューの「**RAMディスク**」を開き、サイズを決めて「**RAMディスクを作成**」を押します（目安は[5.1](#)参照）。
3. 高速化したい項目（一時フォルダ・各種キャッシュ）のタブを開き、トグルを **ON** にします。

4. 毎回自動で使いたい場合は「RAMディスク」タブの「自動起動」を ON にします。

初回は自動起動が **OFF** です。手動で RAMディスクを作成し、動作を確認してから 自動起動を ON にすることをおすすめします。

アンインストール

重要: アンインストールの前に、必ず**「クリーンアップ」ページの「すべての設定を元に戻す」を実行**してください。これにより、リダイレクト中のフォルダが安全に元へ戻り、RAMディスクと自動起動タスクが削除されます。

1. RAMDash の設定ウィンドウを開き、「クリーンアップ」→「すべての設定を元に戻す」を実行。
 - 。実行前にブラウザ・Steam・対象アプリを閉じてください。
2. 트레이アイコン右クリック → 「終了」で RAMDash を終了します。
3. Windows の「設定」→「アプリ」→「インストールされているアプリ」から **RAMDash** をアンインストールします。
 - 。アンインストーラは、実行中の RAMDash を終了させ、自動起動タスクを解除したうえで ファイルを削除します。

クリーンアップを実行せずにアンインストールすると、リダイレクト中のフォルダ（ジャンクション）が残ることがあります。その場合は再インストールして手順 1 を実行してください。

ImDisk ドライバのアンインストール

RAMDash 本体をアンインストールしても、RAMディスクの土台となる **ImDisk ドライバ**はシステムに残ります。ImDisk は他のソフトでも利用されることがあり、また RAMDash を再び使う可能性も考慮して、RAMDash のアンインストーラでは自動削除しません。完全に取り除きたい場合のみ、以下を実施してください。

注意: ImDisk を削除する前に、必ず手順 1（クリーンアップ）を済ませ、RAMディスク（R: など）が残っていないことを確認してください。マウント中の RAMディスクがあると削除に失敗したり、未保存のデータが失われたりします。他に ImDisk を使うソフト（仮想ディスク系ツールなど）がある場合は削除しないでください。

1. Windows の「設定」→「アプリ」→「インストールされているアプリ」の一覧から **ImDisk Virtual Disk Driver**（および同梱の **ImDisk Toolkit**）を探します。
2. 項目の「:」→「アンインストール」を実行します。
 - 。「コントロールパネル」→「プログラムと機能」からでも同様にアンインストールできます。
3. アンインストール後、**Windows** を再起動してドライバを完全に解放します。

ImDisk が一覧に見当たらない、またはアンインストールに失敗する場合は、ImDisk Toolkit に付属する **RamDiskUI**／コントロールパネルの ImDisk アイコンから状態を確認できます。コマンドで確認・取り外す場合は、管理者権限のコマンドプロンプトで **imdisk -l**（マウント中ディスクの一覧）、**imdisk -D -m R:**（R: の強制取り外し）が利用できます。

4. 画面の構成と基本操作

システムトレイ（常時）

- ・ **アイコンを右クリック**: メニュー（「設定を開く」「終了」）を表示します。設定ウィンドウを 開くにはこのメニューから「設定を開く」を選びます（**左クリックでは何も起こりません**）。
- ・ アイコンにマウスを乗せると、RAMディスクの状態がツールチップで表示されます（例: **RAMDash - R: 2048MB | 使用中: 312MB | 空き: 1736MB**）

設定ウィンドウ

左サイドバーでページを切り替えます。

メニュー	内容
RAMディスク	RAMディスクの作成・削除、サイズ設定、自動起動の ON/OFF
一時フォルダ	%TEMP% / %TMP% を RAMディスクへ移動
ブラウザキャッシュ	Chrome / Edge / Firefox のキャッシュを移動
ゲーマー向け	GPU シェーダーキャッシュ・Steam キャッシュを移動
開発者向け	npm / pip / VSCode / NuGet キャッシュを移動
アプリ・システム	Discord / Spotify / Teams / サムネイルキャッシュを移動
クリーンアップ	すべての設定を一括で元に戻す
設定	外観（テーマ）の切り替え、アプリのバージョン確認 (5.9)

ウィンドウを閉じても（× ボタン）アプリは終了しません。トレイに残って動作を続けます。完全に終了するには、トレイアイコンを右クリックして「終了」を選びます。

各キャッシュ項目は **トグルスイッチ（ON/OFF）** で個別に切り替えます。対応するソフトが インストールされていない項目は、自動的にグレーアウトされて選べません。

5. 機能リファレンス

5.1 RAMディスク管理

RAMディスクそのものを作成・削除し、サイズや自動起動を設定するページです。すべての機能の 土台になるため、まずここで RAMディスクを作成します。

表示・操作項目

- ・ システムメモリ: PC の搭載 RAM 総量と、現在の利用可能容量を参考表示します。
- ・ ドライブレター: RAMディスクに割り当てる文字（既定 **R:**）。
- ・ サイズ (**MB**): RAMディスクの容量。1024 MB = 1 GB です。
- ・ **RAMディスクを作成 / 削除**: 設定した内容で RAMディスクを作成、または削除します。
- ・ **現在の状態**: 作成結果や使用量を表示。失敗時は「ログを確認してください」リンクが出ます。
- ・ **自動起動**: Windows 起動時に RAMDash を自動実行する設定 (5.7)。

サイズの決め方（目安）

搭載 RAM	おすすめサイズ
8 GB	1024～2048 MB（1～2 GB）
16 GB	2048～4096 MB（2～4 GB）
32 GB 以上	4096～8192 MB（4～8 GB）

- ・ 利用可能容量の **80% を超える** サイズを指定すると**警告**が出ます（作成は可能ですが 非推奨）。RAM ディスクに割り当てた分は通常の用途に使えなくなるため、 アプリ動作に必要なメモリを残してください。
- ・ 利用可能容量を**超える** サイズは作成が**拒否**されます。
- ・ 迷ったら **2048 MB（2 GB）** から始め、使用量を見ながら調整するのがおすすめです。

5.2 一時フォルダ

Windows やアプリが一時ファイルを置く **%TEMP% / %TMP%** を RAMディスクへ移動します。他のキャッシュが NTFS ジャンクション方式なのに対し、こちらは**環境変数の書き換え**で 実現します。

- ・ トグル: 「TEMPフォルダをRAMディスクにリダイレクト」
- ・ ユーザー環境変数とシステム環境変数の両方を書き換え、変更を即時ブロードキャストします。

注意

- ・ 変更は**新しく起動したプロセス**から有効になります。すでに開いているアプリは 再起動が必要です。
- ・ シャットダウン後は TEMP が一旦元のパスに戻りますが、自動起動が ON なら次回起動時に 再適用されます。

5.3 ブラウザキャッシュ

ブラウザのキャッシュフォルダを NTFS ジャンクション（フォルダの仮想リンク）で RAMディスクへ リダイレクトします。

項目	対象
Google Chrome	Default プロファイルのキャッシュ
Microsoft Edge	Default プロファイルのキャッシュ
Mozilla Firefox	*.default* パターンに一致する全プロファイルの cache2

注意

- ・ **ブラウザ起動中は変更できません**。対象ブラウザを閉じてから ON にしてください（起動中だと自動でスキップされ、次回適用されます）。
- ・ 既存のキャッシュは削除されます（ブラウザが自動で再作成するため問題ありません）。
- ・ シャットダウン後は、次回起動時に RAMディスク作成 → リダイレクト復元が自動で行われます（自動起動が ON の場合）。

5.4 ゲーマー向けキャッシュ

GPU のシェーダキャッシュなど、ゲーム中に頻繁に書き込まれ再生成されるキャッシュが対象で、**効果が体感しやすいカテゴリ**です。

項目	内容
NVIDIA DXCache	NVIDIA の DirectX シェーダキャッシュ
NVIDIA GLCache	NVIDIA の OpenGL シェーダキャッシュ
AMD DxcCache	AMD の DirectX シェーダキャッシュ
Steam HTMLキャッシュ	Steam オーバーレイ等の HTML キャッシュ
DirectX シェーダキャッシュ（GPU共通）	GPU ベンダー非依存の DirectX シェーダキャッシュ

注意

- 対応する GPU ドライバ / ソフトがない項目はグレーアウトされます。
- **Steam** は起動中だとスキップされます。閉じてから ON にしてください。
- シェーダキャッシュは次回ゲーム起動時に RAM 上へ自動再構築されます。

5.5 開発者向けキャッシュ

ビルドやパッケージ取得で大量の小ファイル書き込みが発生する、開発ツールのキャッシュが対象です。

項目	効果
npm キャッシュ	npm install の高速化
pip キャッシュ	pip install の高速化
Visual Studio Code キャッシュ	エディタ動作の高速化
NuGet HTTPキャッシュ	.NET の restore 高速化

注意

- 対応ツールが未インストールの項目はグレーアウトされます。
- **VSCode** は起動中だとスキップされます。閉じてから ON にしてください。
- npm / pip キャッシュはコマンド実行時に自動再構築されます。

5.6 アプリ・システムキャッシュ

チャット・音楽アプリや、Windows のサムネイルキャッシュなど、書き込み頻度の高いものが対象です。

項目	対象	備考
Discord キャッシュ	Discord のキャッシュ	起動中はスキップ
Spotify キャッシュ	Spotify のストレージキャッシュ	起動中はスキップ
Microsoft Teams（従来版）	旧 Teams のキャッシュ	新ストア版(MSIX)は対象外
サムネイル/アイコンキャッシュ	エクスプローラのサムネイル・アイコン	切替時にエクスプローラ再起動

注意

- 対応アプリが未インストールの項目はグレーアウトされます。
- Discord / Spotify / Teams は**起動中だとスキップ**されます。閉じてから ON にしてください。
- サムネイル/アイコンキャッシュを切り替えると、エクスプローラ（explorer.exe）が再起動され、デスクトップとタスクバーが一瞬消えて再表示されます（確認ダイアログが出ます）。この項目だけは定期監視では再適用されず、**Windows 起動時のみ**復元されます。

5.7 自動起動

「RAMディスク」ページ内の設定です。ON にすると、**Windows のタスクスケジューラ**に ログオン時実行タスク（管理者権限・UAC プロンプトなし）が登録され、Windows 起動時に RAMDash が自動起動します。起動時には、RAMディスクの作成 → 各リダイレクトの復元が 自動で行われます。

- OFF にすると、登録された自動起動タスクが解除されます。
- 初回起動時は OFF です。手動で動作確認してから ON にすることをおすすめします。

5.8 クリーンアップ

すべての設定を一括で元に戻すページです。RAMDash の利用をやめるときや、アンインストール前に実行します。

「すべての設定を元に戻す」ボタンで実行される処理

- ブラウザ / ゲーマー / 開発者 / アプリ・システムの各キャッシュのジャンクションを削除し、元のディレクトリを復元
- 一時フォルダ（TEMP/TMP）を元のパスに戻す
- すべての機能を無効化
- **RAMディスク本体を削除**
- タスクスケジューラの自動起動タスクを削除

この操作は元に戻せません。実行前にブラウザおよび Steam（および対象アプリ）を 閉じてください。

5.9 設定（外観・アプリ情報）

アプリの見た目とバージョン確認を行うページです。RAMディスクやキャッシュの動作には影響しません。

外観（テーマ）

- システム設定に追従: Windows のライト/ダーク設定に自動で合わせます。
- ライト / ダーク: 固定で切り替えます。
- 選択した内容は次回起動時にも引き継がれます。
- 初回インストール直後の既定値は **ライト** です。

アプリ情報

- 現在のアプリのバージョン番号を表示します。

6. ユースケース別おすすめ設定

目的に合わせた設定例です。まず「RAMディスク」タブでサイズを決めて作成し、各タブで該当トグルを ON にしてください。最後に「自動起動」を ON にすると、以降は毎回自動で適用されます。

A. ゲーマー（PC ゲーム中心）

- **RAMディスクサイズ:** 4096 MB（16GB 以上推奨）
- **ゲーマー向け:**
 - 向け: NVIDIA / AMD のうち自分の GPU の項目 + DirectX シェーダキャッシュ（GPU共通）
 - Steam HTMLキャッシュ をすべて ON
- **アプリ・システム:** Discord キャッシュ ON（ボイスチャット併用が多いため）
- **ねらい:** シェーダーキャッシュの書き込みを RAM 化し、ストレージ負荷とカクつきを軽減。

B. ソフトウェア開発者

- **RAMディスクサイズ:** 4096～8192 MB
- **開発者向け:** npm / pip / VSCode / NuGet のうち使うものを ON
- **一時フォルダ:** ON（ビルド時の一時ファイルが多い場合に有効）
- **ねらい:** `install` / `restore` / ビルドの小ファイル大量書き込みを高速化&SSD 延命。

C. ブラウザ・チャット中心（普段使い）

- **RAMディスクサイズ:** 1024～2048 MB
- **ブラウザ:** 常用ブラウザ（Chrome / Edge / Firefox）を ON
- **アプリ・システム:** Discord / Spotify / サムネイル/アイコンキャッシュ を ON
- **ねらい:** 日常的な細かい書き込みを RAM 化。サムネイルキャッシュで画像フォルダの表示を軽快に。

D. SSD の書き込み回数を減らしたい（延命重視）

- **RAMディスクサイズ:** 2048 MB～（余裕があれば多め）
- **一時フォルダ:** ON
- **ブラウザ / 開発者 / アプリ・システム:** 使っているものをできるだけ ON
- **ねらい:** 「頻繁に書かれて消えてよい」データを RAM に集約し、SSD への書き込みを削減。

いずれの場合も、RAMディスクに割り当てた容量は通常メモリから減ります。アプリの動作が重くなったらサイズを下げてください。

7. 仕組みの解説

- **RAMディスク:** ImDisk ドライバを使い、`imdisk -a -t vm -s <サイズ>M -m R:` 相当で 仮想ディスクを作成します（NTFS でフォーマット）。
- **一時フォルダ:** 環境変数 `TEMP` / `TMP`（ユーザー: `HKCU\Environment`、システム: `Session Manager\Environment`）を書き換え、`WM_SETTINGCHANGE` を送って即時反映します。
- **各種キャッシュ:** 元のキャッシュフォルダを **NTFS** ジャンクションに置き換え、実体を RAMディスク上へ向けます。アプリからは元のパスのまま見え、実際の読み書きは RAM 上で行われます。
- **常駐監視:** 30 秒ごとに RAMディスクの状態をポーリングし、消失していたら自動再作成、ジャンクションが壊れていたら自動修復します。スリープ/休止からの復帰イベントにも対応します。（サムネイルキャッシュだけは explorer 再起動を伴うため、定期監視での再適用は行わず 起動時のみ復元します。）

- **空白期間について:** Windows 起動直後、RAMDash が立ち上がるまでの数秒～十数秒は RAMディスクが未作成です。この間にブラウザ等が起動するとキャッシュ参照先が一時的に 存在しませんが、多くのアプリはキャッシュなしで動作し、後から自動再構築されるため 実害はありません。

8. トラブルシューティング

RAMディスクが作成できない / 「存在しないデバイス」と出る

ImDisk ドライバの導入直後はドライバが読み込まれていない場合があります。 **Windows を一度再起動**してから、もう一度 RAMディスクを作成してください。

「ログを確認してください」リンクが出た

RAMディスクの作成・削除に失敗しています。リンクをクリックすると当日のログ（%AppData%\RAMDash\logs\ramdash-<日付>.log）が開きます。原因の特定に役立ててください。

キャッシュのトグルが ON にできない（グレースアウト / すぐ戻る）

- 対象ソフトがインストールされていない項目はグレースアウトされます（正常な動作です）。
- 対象アプリ（ブラウザ / Steam / VSCode / Discord など）が**起動中**だとスキップされます。そのアプリを閉じてから ON にしてください。
- 「RAMディスクが作成されていません」と出る場合は、先に「RAMディスク」タブで作成してください。

RAMディスクが削除できない（アクセスが拒否される）

ディスク上のフォルダが他のアプリに使用中だと削除に失敗することがあります。対象アプリ（ブラウザ・Steam 等）を閉じてから再度お試しください。RAMDash は通常削除に失敗した場合、**強制アンマウント**を自動で試みます。

サムネイル切替でデスクトップが消えた

サムネイル/アイコンキャッシュの切替では、仕様上エクスプローラが再起動され、デスクトップと タスクバーが一瞬消えて再表示されます。数秒で元に戻ります（異常ではありません）。

アプリがキャッシュ関連のエラーを出す

ごく一部のアプリは、起動時にキャッシュフォルダが空/不在だとエラーを出すことがあります。その項目のトグルを **OFF**（復元）にすれば解消します。

Photoshop など他アプリの「作業ディスク／スクラッチディスク」に R: を指定してしまった

Adobe Photoshop などクリエイティブ系アプリには、メモリが足りなくなったときにデータを 一時退避する「仮想記憶ディスク（スクラッチディスク）」という独自設定があります。RAMDash とは無関係の**アプリ側**の設定ですが、新しく現れた **R:** ドライブをうっかりそこに指定してしまうと、次のようなメッセージが出て起動できなくなることがあります。

現在選択されている仮想記憶ディスクがいっぱいです。次回の起動時に有効になる 仮想記憶ディスク環境設定を変更してください。

原因: スクラッチディスクは元々「メモリから溢れたデータの退避先」という役割のため、退避先自体を RAM ディスク (=メモリ) にしてしまうと、数GB程度の小さな容量ですぐ いっぱいになり、正常に動作できなくなります。RAM ディスクはスクラッチディスク用途には **不向き** です。

対処法

1. 表示されているダイアログの一覧で **R:** の「有効」チェックを外し、**C:** など**通常のストレージドライブ**にチェックを入れて OK を押します。
2. ダイアログが出ずに起動できない場合は、**Ctrl + Alt** キーを押しながら **Photoshop** を起動すると、この設定ダイアログを強制的に表示できます。
3. 起動できたら **編集** → **環境設定** → **仮想記憶ディスク** を開き、**R:** のチェックが外れていることを確認して保存してください。

予防策: RAM ディスク (既定 **R:**) は「消えても自動で作り直されるキャッシュ・一時ファイル」専用です。Photoshop の仮想記憶ディスクのほか、動画編集ソフトのキャッシュ先ドライブなど、**アプリ側で明示的にドライブを選ぶ設定**には R: を指定しないでください。

設定ウィンドウを閉じてもアプリが終わらない

仕様です。× で閉じてトレイに常駐し続けます。完全終了はトレイアイコン右クリック → 「終了」。

どうしても直らない場合 (設定のリセット)

上記を試しても **RAM ディスク** がどうしても作成できない、または **キャッシュのトグル** がどうしても **ON** にできない場合は、設定ファイルが壊れている可能性があります。次の手順で設定を初期化してから、改めてセットアップしてください。

1. 「3. インストール・アンインストール方法」の手順に従って、一度 **RAMDash** をアンインストールします。
 - 可能であれば、事前に「クリーンアップ」→「すべての設定を元に戻す」を実行してください。
2. エクスプローラのアドレスバーに **%AppData%\RAMDash** と入力して開き、**settings.json** を削除します (フォルダごと **RAMDash** を削除しても構いません)。
 - **%AppData%** は通常 **C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Roaming** です。
3. 「3. インストール・アンインストール方法」の手順に従って、再度インストールから実施します。

settings.json を削除すると、保存済みの設定 (ドライブレーター・容量・各キャッシュの ON/OFF・テーマなど) はすべて初期状態に戻ります。次回起動時にデフォルト設定で作り直されます。

9. よくある質問 (FAQ)

Q. シャットダウンしたら RAM ディスクの中身は消えませんか? A. 消えます。ただし対象は再生成されるキャッシュ・一時ファイルだけなので、保存データが消えることはありません。次回起動時 (自動起動 ON) に RAM ディスクとリダイレクトが自動復元されます。

Q. メモリが減って PC が重くなりませんか? A. RAM ディスクに割り当てた分だけ通常メモリが減ります。搭載 RAM に対し大きすぎるサイズを避ければ問題ありません (5.1 の目安を参照)。重く感じたらサイズを下げてください。

Q. ドライブレターは R: 以外にできますか？ A. はい。「RAMディスク」タブのドライブレターで変更できます。

Q. 設定ファイルはどこにありますか？ A. `%AppData%\RAMDash\settings.json` です。各項目の ON/OFF と、復元用の元パスが保存されます。

Q. ログはどこですか？ A. `%AppData%\RAMDash\logs\ramdash-<日付>.log`（日次）。5MB を超えるとローテーションされます。

Q. 新しい Teams（ストア版）が対象にならない A. 新ストア版（MSIX）はパッケージ仮想化のためジャンクションを使えず、対象外です。従来版 Teams のみ対応します。

10. 配布形態（お試し版・シェアウェア版）

RAMDash は次の 2 つの形態で配布されています。

- **お試し版:** 機能はシェアウェア版と同じですが、**お試し期間つき**です。期間終了後は 購入が必要になります（詳細は次項参照）。
 - ダウンロード: <https://nori3-dev.github.io/LandingPage/#2>
- **シェアウェア版:** 購入後にご利用いただく **期間制限のない版**です。
 - ダウンロード: <https://nori33.booth.pm/items/8527152>

お試し版について

配布形態によっては、機能はすべて同じまま**お試し期間つきのお試し版**として提供される場合があります。シェアウェア版をお使いの場合、本項の内容は関係ありません。

- **起動時のオンライン確認:** お試し版は起動のたびにインターネット経由でお試し期間を確認します。そのため、**起動時にインターネット接続が必要です**。認証サーバーに接続できない場合はアプリが起動できません。
- **残り日数のお知らせ:** お試し期間の残りが少なくなると、起動時にメッセージで残り日数が表示されます。
- **設定ページのバナー:** 「設定」ページ（[5.9](#)）の上部に、残り日数と 購入ページへのリンクを示すバナーが表示されます（シェアウェア版では表示されません）。
- **期限切れ:** お試し期間が終了すると、専用の案内ウィンドウが表示され、そのままではアプリを起動できなくなります。ウィンドウ内の「購入はこちら」リンクから購入ページへ進めます。
- 購入するとシェアウェア版（お試し期間の制限がない版）をご利用いただけます。

11. 作者への連絡先

ご意見・ご要望・不具合報告は、以下の連絡先までお願いします。

- メール: nori3.dev@gmail.com
- **X（旧Twitter）**: <https://x.com/nori91407752>